

毎週日曜発行
2022 5/22

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

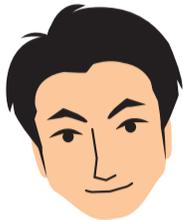


みなさんは火災現場で活動する消防隊員を見たことがありますか？
今回は、仙台市青葉消防署の隊員の装備や資機材を紹介します。

まずは火災現場に着ていく「防火衣」。防火手袋や防火長靴、防火ヘルメットを着けて「完全着装」です。約650度の熱に耐える防火衣は、内部に空気の層が作られていて、熱が伝わりにくい工夫がされています。

おりはらアドバイザーの

学ぼう防災



きょうのテーマ



重さ20キロ放水アイテムも

消防隊員の装備は？

次に「空気呼吸器」。圧縮された空気が入ったボンベと、顔に付ける「面体」などで構成されます。有害な煙の中での活動に必要な基本装備で、防火衣と合わせると約20キロ。小学1年生1人分ほどの重さになります。

火を消すために使用するのは、水を通すホースと、その先に付ける「管そ」です。ホースの太さは

遠くまで大量の水を送れる65ミリと、室内でも扱いやすい50ミリの2種類があります。1本の長さ約20メートルのホースを火元までつなぎ、その先に管そを付けて放水します。

管そも、持ちやすくて長時間の大量放水に適した「ダブルコントロールバリアブルノズル」と、小型で放水・停止の切り替えが早く、少ない水で

効果的に消火できる「クアドラフォグノズル」などを使い分けられます。

ホースに水を送るのは「消防ポンプ自動車」。

みんながよく知る消防車です。1・5ト(浴槽7杯分程度)の水を積み、すぐに水を出せるように備えています。住宅火災1件の消火に必要な水の量は100トを超え、道路などの下にある「消火栓」から水を補給して放水します。消火栓の

近くには標識があるので、探してみてください。

みなさんの大切な家や物を守り、燃え盛る炎の中から命を救うために、消防隊員は多様なアイテムを駆使して活動します。

ところで、みなさんの家にも、火災に早く気付くためや、炎が小さいうちに消すためのアイテムがあります。おうちの人と確認してみよう。

(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

仙台市シェイクアウト訓練



日時●6月10日(金)午前9時45分から11分間
場所●家庭・学校・職場など それぞれの場所で
参加方法●まずは登録!(URL又はQRコード)
<http://www.shakeout.jp/info/sendai-contacts.html>
訓練方法●訓練日時にシェイクアウト訓練!
協力: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

今週の注目ニュース

◇28日(土) 東北絆まつり2022秋田開幕
東日本大震災の鎮魂と復興を願う祭りだよ。開催地は東北6県を回り、今年は秋田市で開かれます。「秋田竿燈」や「仙台七夕」など、6県の代表的な祭りが集まるパレードが見ものなんだから。29日まで。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ